

株主のみなさまへ

第85期

中間報告書



---

平成19年4月1日から平成19年9月30日まで

---



森永乳業株式会社  
証券コードNo.2264

# 株主のみなさまへ

株主のみなさまには平素より格別のご支援を賜わり厚くお礼申し上げます。

当社における第85期上半期（平成19年4月1日から平成19年9月30日まで）の事業の概況をとりまとめましたので、ここに本中間報告書をお届け申し上げます。

よろしくご高覧賜わりますようお願い申し上げます。



平成19年12月

代表取締役社長 **古川 紘一**

## 事業の概況

当中間期のわが国経済は、企業収益の改善などを背景に民間設備投資が引き続き増加し、輸出も好調に推移するなど、景気は緩やかな回復が続きましたが、個人消費は伸び悩みました。

食品業界におきましては、市場全体が伸び悩む中で企業間の販売競争は激化し、一方では、輸入原料および原油価格の上昇などの影響で原材料価格が上昇するなど、依然として厳しい経営環境が続いています。また、相次ぐ偽装表示問題の発生により、商品の安全性や品質に対する消費者の関心が一層高まってきています。

乳業界におきましては、生乳の生産量は、北海道を中心に減産計画が実施され、前年同期を下回りました。飲用牛乳の生産量も、他飲料との競合などにより牛乳、加工乳とも前年同期を下回りました。一方、乳飲料の生産量は新製品の導入の影響もあって前年同期を上回りました。また、国内の乳製品需給は、2年連続の生乳生産調整や海外の乳製品市況の影響もあり、過剰傾向にあった脱脂粉乳やバターの在庫削減が大幅に進み、一転して逼迫した状況となりました。

このような環境の中で、森永乳業グループは、お客様のニーズに応えた商品の開発、改良に努め、効率的な販売促進活動を展開するとともに、原材料価格の上昇を吸収すべくローコストオペレーションの徹底をはかっていますが、当中間期は減益という厳しい結果となりました。

これらの結果、当中間期の連結売上高は3,150億1千万円（前年同期比2.9%増）となりました。一方、利益面におきましては、原材料価格の上昇を吸収しきれず、営業利益

は83億1千万円（前年同期比7.1%減）、経常利益は82億9千9百万円（前年同期比17.8%減）、中間純利益は34億5千2百万円（前年同期比10.5%減）となりました。

部門別の状況（部門間取引消去前）は次のとおりです。

食品事業（市乳、乳製品、アイスクリーム、飲料など）の当中間期の売上高は3,028億4千6百万円（前年同期比3.4%増）となり、また、営業利益は160億6千1百万円（前年同期比13.4%減）になりました。

その他の事業（飼料、プラント設備の設計施工など）につきましては、売上高は174億8千2百万円（前年同期比5.8%減）となり、また、営業利益は16億1百万円（前年同期比14.1%減）となりました。

## 森永乳業の概況

当中間期の売上高は、2,393億9千万円（前年同期比3.8%増）となりました。利益面では、当初の予想を上回る原材料価格の上昇、販売競争激化に伴う売上単価の低下や販売促進費の増加などの影響が大きく、売上増による増益で吸収することができず、営業利益は34億8千8百万円（前年同期比25.1%減）、経常利益は52億8百万円（前年同期比21.5%減）となりました。中間純利益は15億1百万円（前年同期比58.2%減）となりました。

### 市 乳

牛乳類は、「森永のおいしい牛乳」シリーズは前年同期を上回りましたが、飲用牛乳市場の消費低迷の影響を受け、全体では前年同期の売上を下回りました。

乳飲料は、「カフェラッテ プレミア」が加わって品揃えの充実したカップ飲料の「マウントレニア」シリーズが大きく売上を伸ばし、「リプトンミルクティー」も好調に推移して、乳飲料全体では前年同期の売上を上回りました。

ヨーグルトは、新商品の「赤いアロエヨーグルト」の寄与などから「アロエヨーグルト」は前年同期を上回りましたが、プレーンヨーグルトやその他のフルーツヨーグルトが前年同期を下回り、ヨーグルト全体では前年同期の売上を下回りました。

プリンは、主力商品である「焼プリン」に加え、「プティボとろふわプリン」シリーズが好調に推移し、前年同期の売上を上回りました。

これらにより、市乳の売上高は1,096億4千7百万円（前年同期比4.1%増）となりました。



## 乳製品

調製粉乳は、「森永ペプチドミルク E赤ちゃん」、「森永フォローアップミルクチルミル」などの拡売により、前年同期並みの売上を確保しました。しかしながら、業務用の脱脂粉乳、家庭用のスキムミルクおよび「クリープ」の売上が前年同期を下回り、粉乳全体では前年同期の売上を下回りました。

チーズは、クラフトブランドの「スライスチーズ」、「切れてるチーズ」や「パルメザンチーズ」などの家庭用チーズは前年同期を上回り、チーズ全体でも前年同期の売上を上回りました。

これらにより、乳製品の売上高は、454億7千1百万円（前年同期比1.1%減）となりました。



## アイスクリーム

「MOW（モウ）」、「PARM（パルム）」や「チェリオ」などの売上増加により、家庭用アイスクリームの売上は前年同期を上回りました。また、業務用アイスクリームの売上も拡大したことから、アイスクリーム合計の売上高は313億2千9百万円（前年同期比10.8%増）となりました。



## その他

飲料は、リプトンフルーツティーやサンキストジュースなどが好調に推移したことから、前年同期の売上を上回りました。

フルーツゼリーやコーヒーゼリーなどのゼリー類や流動食も好調に推移しました。

これらにより、その他の売上高は529億4千2百万円（前年同期比3.6%増）となりました。



下半期につきましては、世界経済は、米国のサブプライム住宅ローン問題の影響で不透明感が増しておりますが、わが国経済は、好調な企業収益に支えられ、緩やかな景気回復が続くものと予想されます。しかしながら、個人消費の本格的な回復にはなお時間を要するものと思われまます。

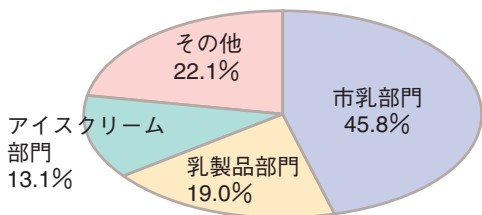
食品業界におきましては、消費者の安全に対する目が一段と厳しくなるとともに、消費者のニーズが多様化し、引き続き激しい販売競争が見込まれます。また、輸入原料価格の大幅な上昇や原油価格の高止まりが懸念され、経営環境は一層厳しくなるものと思われまます。

これらに対処するため、当社グループは伸ばすべき商品の売上拡大による収益力向上、差別化商品育成のための仕組み構築、ローコストオペレーションの実現によるコスト吸収などを重点課題として取り組んでまいります。

特に商品開発におきましては「おいしいをデザインする」というスローガンのもと、消費者のニーズにあった価値のある商品の開発に努めてまいります。併せて品質保証体制の一層の強化に取り組んでまいります。

株主のみなさまにおかれましては、なお一層のご指導、ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

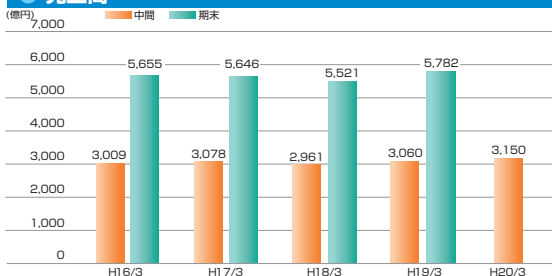
森永乳業 部門別売上高（中間期）



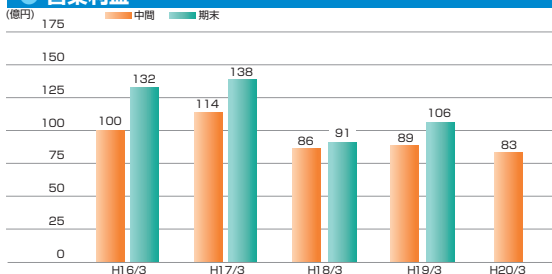
# 当社グループの実績

## 連結

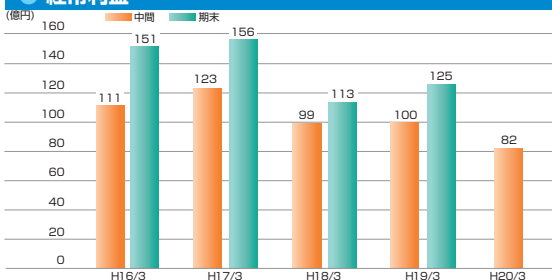
### ● 売上高



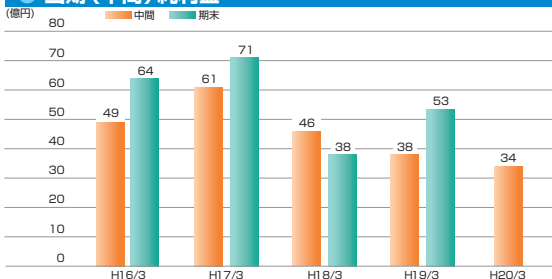
### ● 営業利益



### ● 経常利益

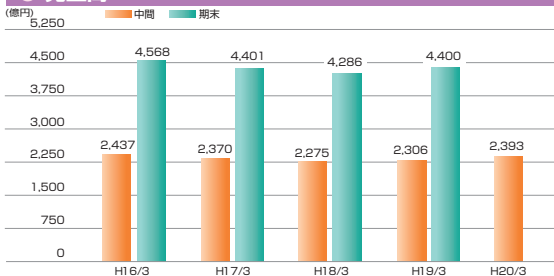


### ● 当期(中間)純利益

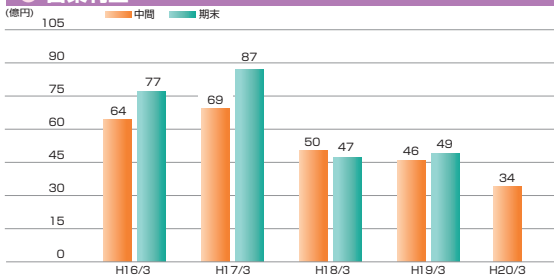


# 単体

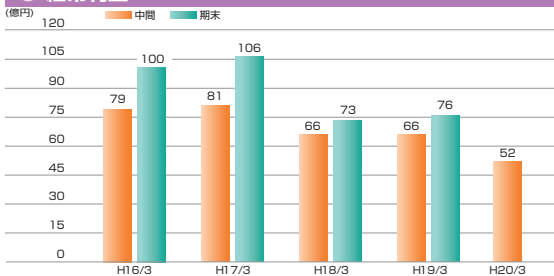
## ● 売上高



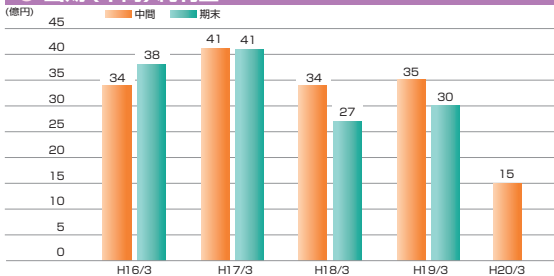
## ● 営業利益



## ● 経常利益



## ● 当期(中間)純利益



## 中間連結決算概要

### 中間連結貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当中間連結会計期間 平成19年9月30日現在	前中間連結会計期間 平成18年9月30日現在	前連結会計年度 平成19年3月31日現在
(資産の部)	378,550	357,127	342,972
流動資産	136,566	130,418	114,227
固定資産	241,984	226,709	228,745
有形固定資産	208,270	175,482	180,855
無形固定資産	3,663	3,594	3,555
投資その他の資産	30,049	47,632	44,335
資産合計	378,550	357,127	342,972

(負債の部)	277,359	254,411	241,166
流動負債	156,121	159,581	148,127
固定負債	121,238	94,829	93,038
(純資産の部)	101,190	102,716	101,806
株主資本	96,565	95,466	95,720
資本金	21,704	21,704	21,704
資本剰余金	19,454	19,453	19,453
利益剰余金	55,821	54,642	54,936
自己株式	△ 415	△ 333	△ 373
評価・換算差額等	2,380	5,221	3,971
新株予約権	84	38	38
少数株主持分	2,160	1,990	2,076
負債純資産合計	378,550	357,127	342,972

### 中間連結損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当中間連結会計期間 平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	前中間連結会計期間 平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	前連結会計年度 平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売上高	315,010	306,080	578,257
売上原価	220,779	214,771	407,275
売上総利益	94,230	91,308	170,981
販売費及び一般管理費	85,920	82,359	160,358
営業利益	8,310	8,949	10,623
営業外収益	1,160	2,107	3,739
営業外費用	1,172	956	1,827
経常利益	8,299	10,099	12,535
特別利益	650	154	2,596
特別損失	1,496	2,503	4,916
税金等調整前中間(当期)純利益	7,452	7,750	10,215
法人税、住民税及び事業税	3,928	3,814	4,087
法人税等調整額	—	—	620
少数株主利益(減算)	71	78	176
中間(当期)純利益	3,452	3,857	5,329



## 中間連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当中間連結会計期間	前中間連結会計期間	前連結会計年度
	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	19,886	21,499	27,832
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 17,084	△ 24,933	△ 35,390
財務活動によるキャッシュ・フロー	2,220	1,201	△ 166
現金及び現金同等物に係る換算差額	10	1	8
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	5,033	△ 2,230	△ 7,716
現金及び現金同等物の期首残高	3,759	11,268	11,268
連結子会社増加に伴う現金及び 現金同等物の期首残高増加額	3,679	151	151
連結子会社減少に伴う現金及び 現金同等物の期首残高減少額	△ 10	—	—
連結子会社合併に伴う現金及び 現金同等物の期首残高増加額	—	55	55
現金及び現金同等物の中間期末(期末)残高	12,461	9,245	3,759

## 中間連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円未満切捨て)

当中間連結会計期間 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	21,704	19,453	54,936	△ 373	95,720
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当			△ 1,518		△ 1,518
中間純利益			3,452		3,452
自己株式の取得				△ 47	△ 47
自己株式の処分		1		5	7
連結子会社減少による剰余金減少			△ 1,008		△ 1,008
持分法適用会社減少による剰余金減少			△ 40		△ 40
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)					
中間連結会計期間中の変動額合計	—	1	885	△ 41	844
平成19年9月30日残高	21,704	19,454	55,821	△ 415	96,565
当中間連結会計期間 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	評価・換算 差 額 等	新株予約権	少数株主 持 分	純資産合計	
平成19年3月31日残高	3,971	38	2,076	101,806	
中間連結会計期間中の変動額					
剰余金の配当				△ 1,518	
中間純利益				3,452	
自己株式の取得				△ 47	
自己株式の処分				7	
連結子会社減少による剰余金減少				△ 1,008	
持分法適用会社減少による剰余金減少				△ 40	
株主資本以外の項目の中間連結会計期間中の変動額(純額)	△ 1,590	45	84	△ 1,460	
中間連結会計期間中の変動額合計	△ 1,590	45	84	△ 616	
平成19年9月30日残高	2,380	84	2,160	101,190	

# 個別中間決算概要

## 中間貸借対照表

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当中間期 平成19年9月30日現在	前中間期 平成18年9月30日現在	前 期 平成19年3月31日現在
(資産の部)	298,717	290,832	283,298
流動資産	117,269	114,257	103,352
固定資産	181,448	176,574	179,946
有形固定資産	133,474	126,567	132,735
無形固定資産	2,718	2,743	2,709
投資その他の資産	45,255	47,263	44,500
資産合計	298,717	290,832	283,298

(負債の部)	226,294	214,981	209,281
流動負債	139,848	143,399	137,695
固定負債	86,445	71,581	71,586
(純資産の部)	72,423	75,850	74,016
株主資本	70,441	71,108	70,498
資本金	21,704	21,704	21,704
資本剰余金	19,490	19,488	19,489
利益剰余金	29,662	30,248	29,678
自己株式	△ 415	△ 333	△ 373
評価・換算差額等	1,897	4,703	3,479
新株予約権	84	38	38
負債純資産合計	298,717	290,832	283,298

## 中間損益計算書

(単位：百万円未満切捨て)

科 目	当中間期	前中間期	前 期
	平成19年4月1日から 平成19年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成18年9月30日まで	平成18年4月1日から 平成19年3月31日まで
売 上 高	239,390	230,697	440,001
売 上 原 価	177,195	170,238	326,651
売 上 総 利 益	62,194	60,459	113,350
販売費及び一般管理費	58,706	55,801	108,397
営 業 利 益	3,488	4,657	4,952
営 業 外 収 益	2,732	2,820	4,266
受取利息及び配当金	2,079	2,022	2,807
雑 収 益	653	797	1,458
営 業 外 費 用	1,012	839	1,617
支 払 利 息	720	641	1,295
雑 損 失	292	198	322
経 常 利 益	5,208	6,637	7,601
特 別 利 益	426	1,083	2,458
特 別 損 失	1,960	1,328	3,883
税引前中間(当期)純利益	3,674	6,392	6,176
法人税、住民税及び事業税	2,172	2,801	1,937
法人税等調整額	—	—	1,218
中 間 ( 当 期 ) 純 利 益	1,501	3,591	3,021

## 中間株主資本等変動計算書

(単位：百万円未満切捨て)

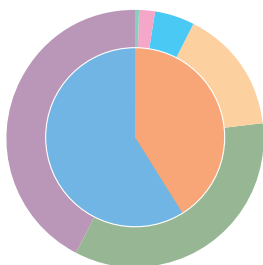
当中間会計期間 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
平成19年3月31日残高	21,704	19,489	29,678	△ 373	70,498
中間会計期間中の変動額					
別途積立金積立			—		—
剰余金の配当			△1,518		△1,518
中間純利益			1,501		1,501
自己株式の取得				△ 47	△ 47
自己株式の処分		1		5	7
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)					
中間会計期間中の変動額合計	—	1	△ 16	△ 41	△ 57
平成19年9月30日残高	21,704	19,490	29,662	△ 415	70,441
当中間会計期間 (平成19年4月1日から平成19年9月30日まで)	評価・換算差額等		新株予約権	純資産合計	
平成19年3月31日残高	3,479		38	74,016	
中間会計期間中の変動額					
別途積立金積立				—	
剰余金の配当				△ 1,518	
中間純利益				1,501	
自己株式の取得				△ 47	
自己株式の処分				7	
株主資本以外の項目の中間会計期間中の変動額(純額)	△ 1,582		45	△ 1,536	
中間会計期間中の変動額合計	△ 1,582		45	△ 1,593	
平成19年9月30日残高	1,897		84	72,423	

# アンケートのご報告

6月の年次報告の際にアンケートをお願いしましたところ、2,724名の株主のみなさまからご回答を頂戴いたしました。多数のご回答をいただき誠にありがとうございます。ここに集計結果の一部をご紹介します。

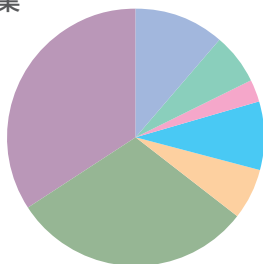
お寄せいただきました貴重なご意見・ご要望につきましては、今後の企業活動に反映させ、株主のみなさまのご期待にお応えできるよう努めてまいります。

## 年齢および性別



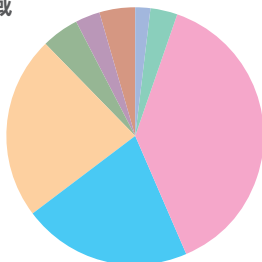
20歳未満	0.0%
20歳代	0.5%
30歳代	2.0%
40歳代	5.0%
50歳代	15.6%
60歳代	34.5%
70歳以上	42.4%
女性	41.1%
男性	58.9%

## 職業



会社員	11.3%
会社役員	6.4%
公務員	2.8%
商工・自営	8.6%
自由業	6.4%
主婦	30.3%
その他	34.2%

## 地域



北海道	1.9%
東北	3.4%
関東	38.2%
中部	21.2%
近畿	23.0%
中国	4.7%
四国	3.1%
九州	4.5%

**Q1**

当社株式を購入された際、何を重視されましたか。(複数回答有り)

**Answer (上位5位)**

① 安定性	24.6%
② 配当・株主優待	23.5%
③ 将来性	17.8%
④ 当社商品のファン	8.3%
⑤ 商品のブランド性	8.2%

**Q2**

当社の株式をどのくらいの期間保有されていますか。

**Answer**

● 10年以上	59.8%
● 5年～10年未満	18.2%
● 3年～5年未満	8.9%
● 1年～3年未満	10.7%
● 1年未満	2.4%

**Q3**

当社の株式について今後の方針をお聞かせください。

**Answer**

① 資産として長期間保有したい	67.5%
② 売却をしたい	18.4%
③ 買い増しをしたい	12.4%
④ 短期間の売買で売却益を得たい	1.7%

**Q4**

今後情報の充実を望まれる年次報告書の記事についてお教えてください。(複数回答有り)

**Answer (上位4位)**

① 商品のご紹介	16.2%
② 研究開発活動	15.0%
③ 経営方針	14.9%
④ 事業の概況	13.1%

## 森永乳業の概況 (平成19年9月30日現在)

設立年月日	昭和24年4月13日
資本金	21,704,355,355円
発行可能株式総数	720,000,000株
発行済株式総数	253,977,218株
本社所在地	東京都港区芝五丁目33番1号
ホームページアドレス	<a href="http://www.morinagamilk.co.jp/">http://www.morinagamilk.co.jp/</a>
従業員数	3,159名
主要な事業内容	市乳（牛乳、乳飲料、ヨーグルト、プリン）、乳製品（練乳、粉乳、バター、チーズ）、アイスクリーム、飲料、流動食など

## 大株主（上位10名）

株主名	持株数(千株)	議決権比率(%)
森永製菓株式会社	26,248	10.53
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	16,493	6.61
株式会社みずほ銀行	12,431	4.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	12,341	4.95
株式会社みずほコーポレート銀行	7,303	2.93
株式会社三菱東京UFJ銀行	6,942	2.78
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井アセット信託銀行再信託分・株式会社三井住友銀行退職給付信託口)	6,644	2.66
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口4)	6,411	2.57
資産管理サービス信託銀行株式会社(信託B口)	5,703	2.28
三菱UFJ信託銀行株式会社	4,617	1.85

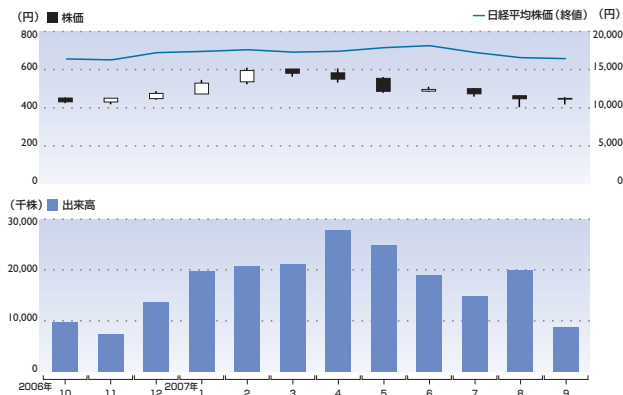
## 株式分布状況 株主数34,449名

### 所有者別株式分布

外国人 9.4%      その他 1.8%



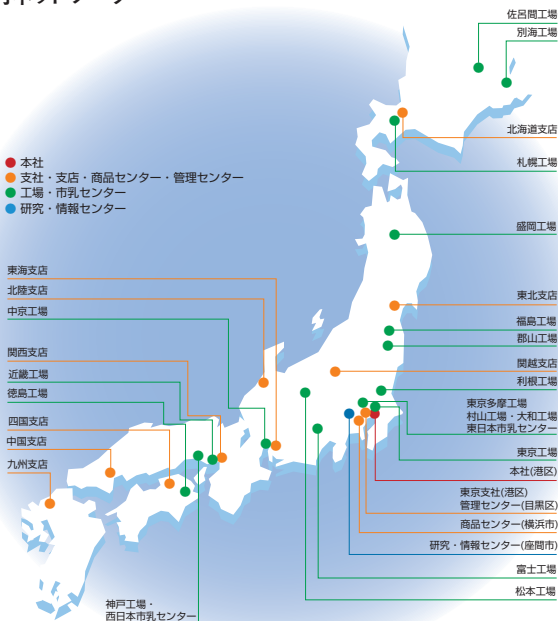
## 株価・出来高の推移



## 役員 (平成19年11月30日現在)

代表取締役会長	大野 晃	常務取締役	八木 正博
代表取締役社長	古川 紘一	取締役	木村 康二
取締役副社長	片岡 伸好	常勤監査役	高岡 昌昭
専務取締役	宮原 道夫	常勤監査役	北原 彰
常務取締役	石井 忠	監査役	八重田 敏夫
常務取締役	小久保 貞之	監査役	武山 信義
常務取締役	野口 純一		

## 国内ネットワーク



## お知らせ

### ■株主さまご優待の制度について

株主のみなさまからの日頃のご支援にお応えするとともに、当社取扱い商品に対するご理解を深めていただくことを目的として、9月30日現在の株主名簿および実質株主名簿に記載又は記録された1,000株（1単元）以上ご所有の株主のみなさまに、11月に一律「絹ごし豆腐1ケース（290g×12個入り）」をお届けいたしております。

# クリープ°Light®

**脂肪分  
50%カット**

※当社クリープ比

ミルク生まれ。  
なのになすっきり。



**新登場**

ミルクのコクはそのままに、すっきりとした後味。

発売46周年目のクリープから、待望のLightタイプが新登場。

おいしいをデザインする

**森永乳業**

<http://www.morinagamilk.co.jp/>

## 株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日
配当金受領株主確定日	毎年3月31日
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。
株主名簿管理人 同事務取扱場所 (連絡先)	東京都千代田区丸の内一丁目4番5号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 〒137-8081 東京都江東区東砂七丁目10番11号 三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-232-711(フリーダイヤル)
同取次所	三菱UFJ信託銀行株式会社 全国各支店

### お知らせ

- 1.住所変更、配当金振込指定・変更、单元未満株式買増・買取請求に必要な各用紙および株式の相続手続依頼書のご請求は、株主名簿管理人のフリーダイヤル0120-244-479(24時間・自動音声対応)にて承っておりますので、ご利用ください。
- 2.配当金をゆうちょ銀行貯金口座へお振込みすることができます。お手続きには振込指定書のご提出が必要ですので株主名簿管理人に指定書用紙をご請求ください。

**ご注意** 当社は中間配当制度を採用しておりません。

